

6の2 規則第14条の2の報告書の様式

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成30年6月1日

本別町長 様

立木を買い受けて伐採する者の  
住所氏名を記載。

(伐採する者)

住所 本別町北2丁目4-1

報告者 氏名 本別太郎

印

造林権限者の住所氏名を記載。

(伐採後の造林に係る権限を有する者)

住所 本別町北2丁目4-1

報告者 氏名 株式会社 本別次郎

印

平成29年10月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

伐採箇所の地番を記載。地番をまたがる場合は全ての地番を記載。

中川郡 本別町北2丁目4番地1

2 伐採の実施状況

小数第2位まで記載。

伐採面積				1.00ha
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	100%	
伐採樹種	カラマツ			
伐採の期間	平成29年12月1日～平成30年1月31日			

3 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数
人工造林	植栽	平成30年5月1日 ～ 平成30年5月20日	カラマツ	1.00ha	2,000本
天然更新				ha	本

4 備考

## 注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 3 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 4 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 7 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 8 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 9 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。